広報119
やめ消防
Yame Fire Department

令和元年度
2019年9月号

災害件数（令和元年8月3日現在）
火災：八女市　20 件　　広川町　1 件
　　高速・その他　0 件
救急：八女市　1,764 件　広川町　464 件
　　高速・その他　10 件

八女消防本部職員募集

1. 試験日・場所
   令和元年１０月２０日（日）八女市立福島中学校

2. 受付期間
   令和元年８月２６日（月）～９月１３日（金）まで

3. 受験資格

   平成７年４月２日～平成１４年４月１日までに生まれた人で、高等学校卒業程度以上の学力を有する人。又、採用後、八女地区消防組合管内及び周辺地域に居住できる人。（なお、周辺地域に居住する場合、距離・通勤時間等による制限あり）

申し込みは9月13日まで！
急いで消防本部へ

ご不明な点は八女消防本部総務課までお問合せください。

TEL：0943－24－0119

詳細については、八女消防本部公式ホームページをご覧ください。

八女消防本部

【発　行】八女消防本部予防課広報係　〒834-0063　八女市本村 22-1　TEL（0943）24-1119

逃げ遅れゼロへ！　【 避難情報・防災気象情報のレベル化 】

近年、台風や地震、災害級の猛暑など、さまざまな自然災害が発生し、なかでも平成 30 年 7 月豪雨は広い範囲で過去最大の雨量が観測され、死者・行方不明者が 230 人以上と、平成になって最悪の豪雨災害となりました。

平成 30 年 7 月豪雨では気象庁が2日前の段階で警戒を強く呼びかけ、様々な防災気象情報が出され、土砂災害の犠牲者が出た箇所の 70%で災害発生前に避難勧告が出されましたが、その情報は住民の避難に十分に結びつきませんでした。総務省消防庁のまとめでは、自治体から最大で 860 万人に対して避難勧告などが出されましたが、避難所への避難が確認された人数は、対象人数の僅か 0.5 パーセント程度でした。

そのため、さまざまな防災気象情報を避難行動に結びつけるため、水害・土砂災害について市町村が発令する避難情報と、国や都道府県が発表する防災気象情報が 5 段階にレベル化されました。

防災情報はいろいろあるけど、いつ避難すればいいの　？

避難情報

※ 市町村が発令します

緊急速報（エリア）メール、情報（防災）配信メール、防災ラジオ、町内放送等でお知らせします。

警戒レベル	とるべき行動等	避難情報等
警 戒 レベル５	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	**災害発生情報** 災害が実際に発生していることを把握した場合に発令
警 戒 レベル４ 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	**避難勧告** **避難指示（緊急）** 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令
警 戒 レベル３ 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	**避難準備** **高齢者等避難開始**
警 戒 レベル２	避難に備え、ハザードマップ等で、自らの避難行動を確認しましょう。	**洪水注意報** **大雨注意報等**
警 戒 レベル１	災害への心構えを高めましょう。	**早期注意情報**

高　全員避難！　高齢者等は避難！　危険度　低

内閣府防災情報ページより引用

防災気象情報

※ 国土交通省、気象庁や都道府県が発表

警戒レベル相当情報（例）

警戒レベル 5 相当情報
- 大雨特別警報
- 氾濫発生情報　等

警戒レベル 4 相当情報
- 氾濫危険情報
- 土砂災害警戒情報　等

警戒レベル 3 相当情報
- 氾濫警戒情報
- 洪水警報　等

上記の防災気象情報は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

避難情報・防災気象情報のレベル化については、内閣府の防災情報ページに詳しい内容が掲載されています。

内閣府　避難勧告

検　索

早めの対策、早めの避難を！　【 台風シーズン到来 】

昨年は、平年よりも多い29個もの台風が発生し、『逆走台風』と呼ばれた台風12号や関西国際空港を高潮で浸水させ、連絡橋にタンカーを衝突させるなどの被害を出した台風21号など全国各地でたくさんの台風による被害が発生しました。

今年も、これからが台風シーズンの本番です。近年の災害をみてみると、これまでの経験が通用しないものも発生しており、特に台風は勢力や経路等、同じものは一つとして無いため注意が必要です。今後の台風情報には十分注意し、早めの対策、早めの避難を心掛け、防災減災に努めましょう。

令和の異常事態　【 大規模林野火災連続発生 】

八女消防本部管内では、今年1月から8月1日現在で20件の火災が発生しています。この数字は、例年と比べても同程度の件数ですが、今年5月の件数だけを見ると、1ヶ月間で8件もの火災が発生しました。そのうちの4件は林野火災となっており、7日と25日に立花町で発生した林野火災は、当消防本部や八女市消防団だけでは消火が困難と判断し、福岡市消防局、北九州市消防局の消防ヘリや大分県の防災ヘリに応援要請を行い、空中消火を行う大規模な火災となりました。

管内の火災でヘリ要請を行ったのは、平成17年5月に矢部村で発生した林野火災以来で、実に14年ぶりとなりました。また、平成の30年間でみるとヘリ要請を行った火災は、平成13年の星野村林野火災と平成17年の矢部村林野火災の2件だけでした。しかし、令和に入ってわずか1か月間でヘリ要請を行う火災が2件発生しており、当消防本部始まって依頼の

『異常事態』でした。

火災の多くは、人のちょっとした不注意により発生し、一瞬にして大切なもの（生命、財産、思い出など）を奪ってしまいます。他人事と思わず、一人ひとりが防火について真剣に考え、火災ゼロを目指しましょう。

知っていますか？

ガソリンの危険性

令和元年7月18日、京都アニメーション第1スタジオに男が侵入し、携行缶で購入したガソリンを撒いて放火したことにより、35名の方が亡くなり、33名の方が重軽傷を負う平成以降最悪の放火事件が発生しました。
（令和元年8月1日現在）

今回使用されたガソリンは、取扱いや保管方法等、法令で厳しく規制されており、取扱いを間違えると大変危険です。

右の5つのポイントに注意して、事故を起こさない様にしましょう。

ガソリンを購入するときのお願い

使用目的や購入数量について

・購入するガソリンの使用目的や保管等について聞かれる場合があります。

身分証明書による本人確認について

・ガソリンの購入に際し、本人確認ができる身分証明書の提示を求められる場合があります。

ご協力よろしくお願いいたします。

POINT 1　ガソリンの危険性について

ガソリンは気温が −40℃でも気化し、小さな火源でも引火し、爆発的に燃焼する物質です。（軽油は +40℃で気化します。）

POINT 2　ガソリンを入れる容器について

ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度のある材質を使用することと、容量が制限されています。特に灯油用ポリエチレン缶に入れることは非常に危険ですのでやめましょう。

POINT 3　ガソリンの購入について

ガソリンの購入は、消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください。（セルフスタンドでは、利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません。）

POINT 4　ガソリンの保管について

ガソリンは揮発性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に広がるので、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。

POINT 5　ガソリン携行缶の取扱いについて

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏えい事故の報告がありますので、使用時には取扱い説明書をよく読み、適正な取扱いをしてください。

全国大会出場を目指し 特別救助隊九州大会出場！

令和元年５月２４日（金）、第４５回福岡県消防救助技術指導会が、福岡県消防学校で開催され、強豪ひしめくなか、八女消防本部特別救助隊の引揚救助チームとロープブリッジ救出チームが、福岡県の代表として九州地区消防救助技術指導会に出場することとなりました。

訓練を重ねて臨んだ第４８回九州地区消防救助技術指導会【令和元年７月１９日（金）佐賀県消防学校】では、全国大会出場の切符獲得とはなりませんでしたが、両チームとも見事入賞を果たしました。

九州大会出場

ロープブリッジ救出

消防司令補　有田浩二
消防士長　樋口雄二
消防士長　橋本敬助
消防士長　松尾聖也

引揚救助

消防士長　浦部健
消防士長　立岩忠司
消防士長　渡邉慶二
消防副士長　宮本拓真
消防士　伊藤一孝

平成 30 年度「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」表彰

令和元年５月２９日（水）、第７１回全国消防長会総会において、平成３０年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の会長賞授賞式が行われました。全国の消防職員から123作品（機器の部９８作品／論文の部２５作品）の応募があり、論文の部で八女東消防署の樋口鉄平消防司令補が、「災害時役割分担シートの開発について」で優賞を受賞、機器の部で広川分署の高木俊一消防士長が、「杭打ち固定器具の開発について」で優賞を受賞しました。

論文の部で優賞を受賞

「災害時役割分担シートの開発について」

八女東消防署
樋口鉄平　消防司令補

機器の部で優賞を受賞

「杭打ち固定器具の開発について」

「杭打ち固定器具」と使用方法

八女消防署 広川分署
高木俊一　消防士長

令和元年度 福岡県総合防災訓練

令和元年６月２日（日）、八女郡広川町日吉 ローム・アポロ株式会社グラウンドにおいて、福岡県総合防災訓練を実施しました。この訓練は、福岡県、広川町、各防災関係機関及び地域住民が一体となって実効性のある総合的な防災訓練を実施することにより、災害時における連携の強化、防災技術の向上並びに広く地域住民に対して防火思想の普及啓発を図る事を目的としています。

訓練は、大雨による風水害及び水縄断層西部を震源とする地震の想定で開始され、住民参加型の避難所設置運営訓練、自主防災訓練（自主防災組織による初期消火、負傷者の救出・搬送訓練）や、防災関係機関による訓練では、航空機８機、訓練車両９０台が参加し、情報収集・伝達訓練や救出・搬送訓練、水防訓練、大規模火災防御訓練等を行い、会場を訪れた見学者は、眼前で行われる数々の訓練に釘付けでした。

1 ライフライン復旧訓練の様子
2 倒壊家屋・埋没車両救出訓練の様子
3 自主防災訓練の様子

今回の防災訓練を通じ、地域住民や訓練参加機関に対して、災害時における三助（自助・共助・公助）の役割とそれぞれの連携の重要性を広く普及啓発できたものと思います。